

学校だより 1月号

令和6年1月9日
鴻巣市立小谷小学校

小谷っ子

【学校教育目標】 夢・希望にあふれる心豊かな児童の育成

TEL 048 (548) 1004

FAX 048 (547) 1467

URL <https://koya-e-konosu.edumap.jp/>

e-mail koya-e@city.konosu.ed.jp

毎月19日は「食育の日」です



夢は大きく、楽しむことを忘れず努力を続ければ道は開かれる

校長 棚澤 大輔

令和6年となりました。今年は辰年の中でも甲辰（きのえたつ）の年で、「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」といった、縁起のよい年なのだそうです。

さて、1月といえば新たな年の始まりですが、学校生活では3学期の始まりであり、つまりは学年のまとめの時期となります。今年の新たな目標を定めるとともに、これまでの取組を振り返って4月からの新たな学年につなげていくこととなります。これからのことに目が向きがちな時期ではありますが、我々教職員は、子どもたちが4月から今年度の目標として取り組んできたことを継続し、学年の最後まで努力を続けてほしいと考えています。

「継続は力なり」と言われます。はじめは何も成果が出なくてもコツコツと継続して努力を続けていくことが成功の重要な要因となることは、誰もが人生を積み重ねていく中で実感しているところかと思えます。他にも、「千里の道も一歩から」や「雨だれ石を穿つ」、「ちりも積もれば山となる」、「蟻の思いも天に届く」など類語が多いことから、物事への取組姿勢として、努力を積み重ねていくことが大切にされてきたことが伺えます。学校は、子どもたちにこうした取組姿勢を実体験として学ばせていく場であるととらえ、教職員一同あらゆる教育活動場面で指導にあたっているところです。

年末のあるテレビ番組で、昨年ワールドベースボールクラシック（WBC）において侍ジャパンの一員として活躍されたラース・ヌートバー選手が、日本の子どもたちにコメントを寄せていました。「何をするにも一生懸命努力してください。敬意と情熱をもって取り組むこと。そして仲間との時間を楽しむことが大事。一人で不安を抱えるのではなく、助け合って勝利を目指すことが一番大切。夢は大きく、楽しむことを忘れず努力を続ければ道は開かれます。」

「努力を続けること」が夢や目標を達成するために必要なことであることは誰もが理解しているところ。しかし、自分の中の甘えや外部からの誘惑に負けて途中で挫折してしまうことがあることは、多くの人が経験していることではないでしょうか。ただ、ヌートバー選手の言葉にあるように、夢や目標に向かってともに歩む仲間が存在することは大きな支えとなります。学校は、まさにそのことを体験できる場所であると私は考えます。仲間間で互いに励まし合い、協力し合って取り組むことで達成することができる。また、ライバルとして切磋琢磨しながら取り組むことで達成することもできる。そうした中で、相手や物事を大切にしたい気持ちも育まれていく。これこそ、学校に子どもたちが集う意味の一つと私は考えます。また、学校には、頑張ろうとしている子どもたちに応援や叱咤激励をし、その取組に寄り添う教員もいます。保護者や地域の方々も含め、自分たちを支えてくれる人がいることを子どもたちが感じることで、子どもたちの心の中に頑張りが続きようとする意志・意欲が大きくなり、夢や目標に向かって努力を続ける原動力となっていくことでしょう。

子どもたち一人ひとりが努力を一つ一つ積み重ね、自分の「夢・希望」に向かって一歩ずつ歩み成長していけるよう、教職員一同力を合わせ、今年も引き続き学校教育活動に取り組んでまいります。保護者や地域の皆様におかれましては、本校の教育活動への変わらぬご理解とご支援、ご協力をお願いいたします。



本校の「継続は力なり」の取組（自学・暗唱）

令和6年1月1日に石川県能登地方で発生した地震により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と被災地の日も早い復興、そして被災された皆様の生活が1日も早く平穏に復することを祈り申し上げます。